



茨城国体出場（ソフトボール少年男子）

私は、昨年の茨城国体で日本一になることを目標としていました。しかも、それを共に目指すことができるメンバーにも恵まれていたと思います。古高から国体に参加した唯一のチームメイトである早坂君の存在が、何より一番大きかったです。私が一年生の時に、多少強引ではあったが彼をキャッチャーに選んだことを、今となっては本当に良かったと思います。インターハイ出場の夢が破れ、国体を辞退しようと思ったときに「木田が行かないなら俺も行かない」と彼から言われ、自分の夢は自分だけの夢ではないのだと胸が熱くなりました。国体にそのような仲間と共に宮城県の代表として臨めたことは誇りであり、本当に楽しくプレーに励むことができた。結果的には第3位で終わりましたが、この国体は僕たち二人にとって今までお世話になった人たちへの恩返しのような気持ちがあります。（3年 木田風真 古川東中学校出身）



合唱部 県アンサンブルコンテスト金賞（第2位）受賞！



2月1日（土）仙台市広瀬文化センターで第31回宮城県合唱アンサンブルコンテストが開かれ、私たち合唱部（11名）は金賞・カワイ賞（第2位）を受賞しました。今年はハンガリーの作曲家コダーイの作品を2曲歌いました。少人数ですが、互いに切磋琢磨しながらこれまで練習に励んできました。今回はその努力が報われたように思います。この結果に満足することなく、部員一丸となってさらなる高みを目指します！（2年 引地扶笑子 中新田中学校出身）

防災教室開催

本校では、11月5日（火）の3・4校時に地震を想定した避難訓練と防災教室を行いました。防災教室では、わしん倶楽部の田中勢子氏（防災コーディネーター）を講師に迎え、1・2年生全員が、5、6名のグループに分かれ、クロスノートゲームをしました。クロスノートには、「大きな地震が発生し、避難することになりました。避難所に、家族同然の飼犬（ゴールデンレトリバー雌3歳）を一緒に連れて行くことになった」等、地震発生時に起こったことを想定したものが書かれており、その賛否を各グループごとに討論し合いました。4枚のクロスノートに書かれていることを、生徒たちは真剣に議論し合い、防災意識を高めたようです。



学校説明会開催（小学5年～中学2年生対象）



9月28日（土）に、小5～中2生対象の学校説明会を開催しました。合唱部によるアトラクションのあと、生徒会役員が学習や生徒会活動、部活動についてスライドで詳しく説明しました。そのほか、化学部員による楽しい実験教室、生徒の案内による部活動・施設見学、個別相談などを行いました。本校では、次年度も小5～中2生対象の学校説明会を開催いたします。是非ご参加ください。



保護者の声：「たいへん参考になりました。生徒が楽しく勉強や部活に取り組んで過ごしていることがわかりました。」「早期からの学校説明会、ありがたかったです。子供が進路を考えるきっかけになりました。」「古高を身近に感じました。子どものモチベーションアップにつながってくれればと思います。」

小中学生の声：「わかりやすい説明でさらに興味がわきました。」「とても入りたいと思える楽しそうな学校だった。」「わかりやすくていねいに教えてくれてうれしかったです。」

剣道部女子 快挙！！



2月2日(日)に開催された、勝ち抜き方式の宮城県剣道選手権大会において、我々古高剣道部女子は、歴史に残る偉業を達成しました。おそらく、監督を務めるヒロブミ先生の人生の中でも、経験のない偉業であると思われます。先鋒の自分が、ほぼすべての選手を相手にして2, 3回戦を勝ち上がり、迎えた準々決勝では特別招待校の国士館高校(東京2位, 全国選抜出場校)と対戦、先鋒・自分の1勝リードを守り切って見事勝利。続く準決勝では、仙台育英学園を相手に先鋒・自分は、1勝するものの次の相手に敗れてしまいちょっと意味なし…。しかしこの試合では、大将の竹村が育英の副将、大将2人を破って逆転勝利を収め、新チーム3回目(含むローカル大会)となる決勝戦の舞台へ進出しました。「3度目の正直!!」を合い言葉に本大会初優勝を目指しましたが、聖ドミニコ学園の前に散ってしまいました。しかし、剣道部女子創設以来の本大会準優勝、および先鋒・自分は合計8人抜きという結果から、最優秀選手賞を受賞(こちらは古高剣道部として初)することができました。決して剣道部員の前では笑ったことのない監督・ヒロブミ先生もうれしそうでした。女子部員8名全員で獲得できた賞だと思っております。しかし本番はやはり県総体。これからも一層稽古に打ち込み、6月に全員で笑えるように頑張ります。みんな励ましてください！！

(2年 菅原つくる 築館中学校出身)

コカ・コーラプロジェクトに参加して

私は12月14, 15日に古川高校で行われたコカ・コーラ復興支援基金英語コミュニケーションスキル研修プログラムに参加しました。このプログラムは普通の授業と違い、外国人の方々と英語でコミュニケーションを取り、交流するものでした。私自身、ネイティブの方と本格的にコミュニケーションを取ることは初めてで、このような機会を設けていただいたことをありがたく思っています。私はこのプログラムで、英語で外国の文化を教わったり、宮城の魅力についてプレゼンしたりしました。その中で、外国の方と話すことは勇気がいることであると実感しました。しかし、言語だけでなくジェスチャーも用いて、相手に伝えることができ、自信になりました。同時に、英語で話すことの難しさも実感しました。私はこれまで英語は試験のために勉強するという意識を持っていましたが、このプログラムを通じて、将来のためという目的意識を持ち、英語を学ぶようになりました。この経験を活かし、今後も外国の方と交流を深めていきたいと思えます。



(2年 松浦吏勇 三本木中学校出身)

インターハイに出場して



2月3日から7日の日程で、新潟県妙高市で行われた第69回全国高等学校スキー大会に参加してきました。私は4日と5日に行われたクロスカンントリー女子5kmフリーと女子5kmクラシカルに出場しました。今年は雪が少なかったためコースに雪を運び、周回コースを滑ることになりました。全国の強い選手とレースをしたことで全国のレベルの高さを実感し、自分の足りない部分を改めて認識することができました。結果は自己ベストにほど遠いタイムで、自分の滑りをすることができませんでした。今回経験したことをこれからの部活に活かし、来年もインターハイに出場できるように日々の練習を大切にしていこうと思いました。最後に、顧問の小笠原先生をはじめとする先生方、保護者の方々の支えのおかげでインターハイに出場することができました。応援ありがとうございました。

(2年 高橋希空 鳴子中学校出身)